

令和7年度堺市高齢者等実態調査（介護事業者調査） ご協力をお願い

日頃から、堺市の福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、堺市内をサービス提供区域とする事業所を営む法人を対象に「実態調査」を実施することになりました。

この調査は、今後の高齢者保健福祉行政の方向性を示す次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定にあたり、皆様に事業の運営体制や新たなサービスへの参入意向などについてお伺いするものです。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、上記の目的以外には利用しません。なお、ご回答内容について確認が必要な場合、または不明点がある場合には、電話等でご連絡させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答に当たってのお願い

- 1 法人単位で作成してください。
- 2 設問をお読みいただき、各項目で該当する数字に○をつけてください。設問によって、「○はひとつ」、「○はいくつでも」、「○は3つまで」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。なお、「その他」を選択された場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
- 3 ご回答は、令和7年12月1日現在の状況を記入いただくことを基本とし、設問によって基準日の指定がある場合は、それに従ってください。
- 4 アンケートは、**令和8年2月13日（金）**までにご回答ください。
- 5 次のいずれかの方法で、回答をお願いします。
 - (1) 紙での回答：この調査票に記入し、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご投函ください。
堺市役所長寿支援課へ直接お持ちいただいても結構です。
 - (2) インターネットでの回答：右記の二次元コードまたは下記URLよりご回答ください。
URL：<https://sakaicity.fmq.jp/Q/auto/ja/provider/survey/>
※専用サイトへのログインには、次の回答IDと回答パスワードを入力してください。
◆回答ID : ●●●●●●
◆回答パスワード : ○○○○



【 この調査の実施主体 】

堺市 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課
電話 072-228-8347 F A X 072-228-8918
メールアドレス choshi@city.sakai.lg.jp

【 この調査に関するお問い合わせ先 】

(堺市高齢者等実態調査業務 受託事業者) 株式会社グリーンエコ
電話 0120-341-296 F A X 06-6484-5573
メールアドレス sakaisurvey@gr-eco.co.jp

※ お問い合わせ時間：平日の午前9時から午後5時30分まで
(年末年始および午後0時から午後1時を除く)

問3 現在、事業運営している中で、最も課題に感じていることは何ですか。
(○はひとつ)

1. 財政状況
2. 人手不足
3. 後継者不足
4. 施設の老朽化や安全性の課題
5. 利用者からの苦情、要望
6. 事業運営のための情報やノウハウの不足
7. その他 ()
8. 特にない

問4 現在のサービス提供状況からみて、職員数の過不足はありますか。
(○はひとつ)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 非常に不足している | 2. やや不足している |
| 3. 過不足なく適当な状態である | 4. やや多い |
| 5. 非常に多い | |

問4で「1.」「2.」と回答した法人にお伺いします。

問4-1 職員数が不足している主な理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 新規雇用の際、思った程の人材を確保できなかったため
2. 新規採用者が短期間で退職していくため
3. 新規採用者に限らず離職者が増えているため
4. その他 ()

問5 貴法人の職員の定着率をどう感じていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 非常に定着率が良い | → 【問6へ】 |
| 2. どちらかという而定着率が良い | |
| 3. どちらかという而定着率が悪い | → 【問5-1へ】 |
| 4. 非常に定着率が悪い | |

問5で「3.」「4.」と回答した法人にお伺いします。

問5-1 職員の離職理由で多いものは何だと思えますか。(自己都合は除く)(○は3つまで)

1. 仕事の内容や負担が重い
2. 給与や処遇に不満がある
3. 職場の人間関係がよくない
4. 勤務時間や休日の条件が合わない
5. 結婚や出産
6. 子育てのため
7. 親の介護のため
8. 自身の健康上の理由
9. 転職(同業種への転職)
10. 転職(他業界への転職)
11. その他 ()
12. わからない

問6 介護職員等特定処遇改善加算(区分Ⅱ以上)を取得していますか。
(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. はい | → 【問6-1へ】 |
| 2. いいえ | |
| 3. 一部の施設(事業所)のみ | → 【問6-2へ】 |

問6で「1. はい」と回答した法人にお伺いします。

問6-1 取得した主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. キャリアパス要件を満たすことが容易だったから
2. 職場環境要件を満たすことが容易だったから
3. 加算所得に必要な事務作業(計画書や実績報告書の作成など)が負担にならないから
4. 加算による収益が大きく、メリットを感じるから
5. 人材の定着や確保に、従業員への賃金改善を図る必要があると考えたから
6. 制度内容や取得方法の情報を十分に得られたから
7. 他の法人で取得が進んでおり、自法人でも取得する必要があると判断したから
8. その他()

問6で「2.」「3.」と回答した法人にお伺いします。

問6-2 取得しない主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. キャリアパス要件を満たすことが難しいから
2. 職場環境要件を満たすことが難しいから
3. 加算所得に必要な事務作業(計画書や実績報告書の作成など)が負担になるから
4. 加算による収益が少なく、メリットを感じにくいから
5. 従業員への賃金を十分に支給しており、取得の必要性を感じないから
6. 制度内容や取得方法の情報が不足している、または複雑で分かりにくいから
7. 処遇改善加算の対象外のサービスだから
8. 現在、取得を検討中である
9. その他()

問7 堺市では、職員のスキルアップや人材育成を目的として階層別研修を実施しています。今後、介護事業所向けに実施する研修として、どのようなテーマの研修があれば良いと思いますか。(○はいくつでも)

1. 介護職員の接遇・コミュニケーションに関する研修
2. 認知症ケア・高齢者への対応力向上に関する研修
3. 介護技術(移乗・排泄・食事介助など)の実践的研修
4. 介護記録やICT活用など、業務効率化に関する研修
5. 介護職員のメンタルヘルス・ストレスマネジメント研修
6. リーダー・管理者のマネジメント力向上に関する研修
7. ハラスメント防止・職場の人間関係改善に関する研修
8. 新人・若手職員の育成・定着支援に関する研修
9. 看取りや終末期ケアに関する研修
10. 虐待防止・権利擁護に関する研修
11. その他()
12. 特にない

問8 介護の仕事に携わる外国人労働者を受け入れていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 受け入れている | → 【問8-1へ】 |
| 2. 受け入っていない | → 【問9へ】 |

問8で「1. 受け入れている」と回答した法人にお伺いします。

問8-1 どの制度に基づいて外国人労働者を受け入れているのかお教えてください。(〇はいくつでも)

1. E P A (経済連携協定) に基づく外国人介護福祉士候補者の受け入れ
2. 在留資格「介護」をもつ外国人の受け入れ
3. 技能実習制度を活用した外国人の受け入れ
4. 在留資格「特定技能1号」をもつ外国人の受け入れ
5. その他 ()

問9 今後(または引き続き)、外国人労働者を受け入れる予定はありますか。(〇はひとつ)

1. 受け入れる予定はある
2. 受け入れる予定はない

問10 今後(または引き続き)、外国人労働者を受け入れるうえでの課題は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 利用者との会話などにおいて、意思疎通に支障がある
2. 日本人の職員との会話などにおいて、意思疎通に支障がある
3. 日本語の読解力や文章力の不足などにより、介護記録の作成に支障がある
4. 生活習慣の違いなどにより、日常的な業務に支障がある
5. 受け入れるための制度や外国人労働者の活躍できる場が少ない
6. 受け入れにあたって様々なサポート(住まいの確保、社会・文化に馴染むための生活面でのサポートなど)が必要
7. 外国人労働者の離職率が高い(定着率が低い)
8. 利用者やその家族から、外国人労働者への理解が得られにくい
9. 特に課題はない
10. その他 ()

問11 職員の確保や質の向上を図るために、現在どのような取組を実施していますか。(〇は3つまで)

1. 基本的な技術や実践的知識の向上
2. 利用者からの苦情や相談への対処能力の向上
3. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
4. 職員の福利厚生の充実
5. 職員のモチベーション保持のための制度の充実(キャリアアップなど)
6. 職場に対する相談体制の確保
7. 意思疎通を図るためのミーティングの充実
8. 外部研修への参加
9. 介護職の魅力向上に向けた取り組み
10. 他の事業所との情報交換会
11. 介護職員の負担軽減(ICTや介護ロボットの導入など)
12. 職員の報酬や手当などの充実
13. その他 ()
14. 特に実施していることはない

問 12 ICTや介護ロボット等について、現在どのようなものを導入・利用していますか。(〇はいくつでも)

1. 介護記録ソフト(記録・情報共有機能)
2. 請求業務ソフト(介護報酬請求など)
3. 利用者情報共有システム(職員間・他事業所との情報共有)
4. 家族・利用者との情報共有システム(状況報告・請求・連絡など)
5. 給与計算・勤怠管理・シフト作成ソフト
6. AIによる音声入力や記録・編集機能を有したツール
7. ケアプラン作成支援ソフト
8. グループウェアなどのオンライン連絡ツール
9. タブレットやスマートフォンによる記録入力・閲覧
10. 移乗支援機器(リフト、パワーアシストスーツなど)
11. 移動支援機器(歩行支援ロボット、電動車いすなど)
12. 排泄支援機器(排泄予知センサー、自動排泄処理装置など)
13. 見守り支援機器(センサー、カメラ、バイタル測定連携など)
14. 入浴支援機器(自動入浴装置、移乗リフト付き浴槽など)
15. コミュニケーション支援機器(コミュニケーションロボット、AIスピーカー)
16. 食事に関する機器(とろみサーバー、姿勢保持イス・テーブル)
17. その他()
18. 特に利用していない

問 12で「1.」～「17.」と回答した法人にお伺いします。

問 12-1 導入・利用している理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 導入や維持にかかる費用に支障がなかったから
2. 導入に必要な補助金・制度などの情報を得て活用できたから
3. 機器の操作や管理が難しくなかったから
4. 現在の業務に不便を感じ、導入の必要性を感じたから
5. 導入効果(業務効率化・負担軽減・サービス向上など)が期待できたから
6. 機器の設置や通信環境など、施設環境に問題がないから
7. 他の事業所での活用事例を知ったから
8. 費用が高くても、職員の負担軽減・人材確保のためには必要と考えたから
9. 利用者側から導入を要望されたから
10. その他()

問 12で「18.」と回答した法人にお伺いします。

問 12-2 導入・利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 導入や維持にかかる費用が高いから
2. 導入に必要な補助金・制度などの情報が十分でないから
3. 機器の操作や管理が難しそうだから
4. 現在の業務に特に不便を感じていないから
5. 導入効果(業務効率化・負担軽減・サービス向上など)が分かりにくいから
6. 機器の設置や通信環境など、施設環境が整っていないから
7. 他の事業所の活用事例を知らないから
8. 現在、導入を検討中である
9. 利用者側から導入を要望されていないため
10. その他()
11. 特に理由はない

問 13 令和6年度の貴法人の介護事業会計についてお伺いします。介護事業収支は、どのような状況ですか。(○はひとつ)

1. 大幅な黒字である 2. やや黒字である →【問 13-1 へ】
3. ほぼ収支が均衡している
4. やや赤字である 5. 大幅な赤字である →【問 13-2 へ】

問 13 で「1.」「2.」を選んだ法人にお伺いします。

問 13-1 その主な理由は何だと思えますか。(○は2つまで)

1. 一定以上の利用者数を確保できたため
2. 利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため
3. 人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため
4. 介護報酬が改定されたため
5. その他 ()

問 13 で「4.」「5.」を選んだ法人にお伺いします。

問 13-2 その主な理由は何だと思えますか。(○は2つまで)

1. 当初見込んだ利用者数を確保できなかったため
2. 見込んだ利用者1人当たりのサービス量を確保できなかったため
3. 人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため
4. 介護報酬が改定されたため
5. その他 ()

問 14 今後、堺市内で事業運営を行いたいサービスはありますか。

ある場合はその理由について、それぞれサービス種別ごとに 10 ページの (1) 「今後事業運営を行いたい理由」 から該当するものを選び、その番号を記入してください (番号は3つまで)。また、それぞれ予定している地域があれば 10 ページの (2) 「日常生活圏域」 から該当する地域の番号を記入してください。

| サービス種別 (介護予防サービス含む) | | (1) 今後事業運営を行いたい理由 ※10 ページの (1) から、番号を選択し記入 (3つまで) | (2) 日常生活圏域 ※10 ページの (2) から、番号を選択し記入 |
|------------------------|--------------|--|--|
| | ○居宅介護支援 | | |
| 居宅サービス | ①訪問介護 | | |
| | ②訪問入浴介護 | | |
| | ③訪問看護 | | |
| | ④訪問リハビリテーション | | |
| | ⑤居宅療養管理指導 | | |
| | ⑥通所介護 | | |
| | ⑦通所リハビリテーション | | |
| | ⑧短期入所生活介護 | | |
| | ⑨短期入所療養介護 | | |
| | ⑩特定施設入居者生活介護 | | |
| | ⑪福祉用具貸与 | | |
| | ⑫特定福祉用具販売 | | |

(9 ページに続く)

(8ページの続き)

| サービス種別 (介護予防サービス含む) | | (1) 今後事業運営を行いたい理由 ※10ページの(1)から、番号を選択し記入(3つまで) | (2) 日常生活圏域 ※10ページの(2)から、番号を選択し記入 |
|------------------------|-----------------------|--|-------------------------------------|
| 地域密着型サービス | ①定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | | |
| | ②夜間対応型訪問介護 | | |
| | ③認知症対応型通所介護 | | |
| | ④小規模多機能型居宅介護 | | |
| | ⑤地域密着型通所介護 | | |
| | ⑥認知症対応型共同生活介護 | | |
| | ⑦地域密着型特定施設入居者生活介護 | | |
| | ⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | | |
| | ⑨看護小規模多機能型居宅介護 | | |
| 施設サービス | ①介護老人福祉施設 | | |
| | ②介護老人保健施設 | | |
| | ③介護医療院 | | |

(1) 今後事業運営を行いたい理由（各サービスにつき3つまで）

| | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 土地・建物の確保ができた（できる）ため | 2. 建築などの整備にあたり資金の確保ができた（できる）ため |
| 3. 利用者確保の見込みがあった（ある）ため | 4. 事業経営に見合った介護報酬が得られるため |
| 5. 市で既に他の介護サービスを行っているため | 6. 職員確保の見込みがあった（ある）ため |
| 7. 事業経営が安定しており余力があるため | 8. 利用者から他の介護サービスの要望があったため |
| 9. 特になし | 10. その他 |

(2) 日常生活圏域

| 選択番号 | 圏域 | 圏域を構成する小学校区 | 選択番号 | 圏域 | 圏域を構成する小学校区 | 選択番号 | 圏域 | 圏域を構成する小学校区 |
|------|-----|------------------|------|-----|------------------------|------|------|--------------------------|
| 1 | 堺1区 | 三宝・錦西・市・英彰 | 8 | 東1区 | 南八下・八下西・日置荘・日置荘西・白鷺 | 15 | 南3区 | 上神谷・宮山台・竹城台・竹城台東・若松台・茶山台 |
| 2 | 堺2区 | 錦・錦陵・浅香山・三国丘 | 9 | 東2区 | 登美丘西・登美丘東・登美丘南・野田 | 16 | 南4区 | 三原台・泉北高倉・はるみ・槇塚台 |
| 3 | 堺3区 | 熊野・少林寺・安井・榎 | 10 | 西1区 | 浜寺・浜寺東・浜寺石津・浜寺昭和 | 17 | 北1区 | 東浅香山・新浅香山・五箇荘・五箇荘東 |
| 4 | 堺4区 | 神石・新湊・大仙・大仙西 | 11 | 西2区 | 鳳・鳳南・福泉・福泉上・福泉東 | 18 | 北2区 | 東三国丘・光竜寺・新金岡・新金岡東 |
| 5 | 中1区 | 八田荘・八田荘西・深井・深井西 | 12 | 西3区 | 津久野・向丘・平岡・家原寺・上野芝 | 19 | 北3区 | 大泉・金岡・金岡南・北八下 |
| 6 | 中2区 | 東百舌鳥・宮園・東深井・土師 | 13 | 南1区 | 美木多・赤坂台・新檜尾台・城山台 | 20 | 北4区 | 中百舌鳥・百舌鳥・西百舌鳥 |
| 7 | 中3区 | 久世・東陶器・西陶器・福田・深阪 | 14 | 南2区 | 福泉中央・桃山台・原山ひかり・庭代台・御池台 | 21 | 美原1区 | 黒山・平尾・美原北・八上・美原西・さつき野 |

災害時の対策についてお伺いします。

問 15 貴法人の災害に対する対策の実施状況について、それぞれサービス種別ごとに該当する番号に○をつけてください。

| サービス種別 (介護予防サービス含む) | | (1) 地震・津波対策 | | | (2) 風水害対策 (土砂災害は除く) | | | (3) 火災対策 | | | (4) 土砂災害対策 | | |
|------------------------|---------------------------|-------------|-----|-----------------------------|------------------------|-----|-----------------------------|----------|-----|-----------------------------|------------|-----|-----------------------------|
| | | 実施済 み | 検討中 | 実施・検 討のどち らもして いない | 実施済 み | 検討中 | 実施・検 討のどち らもして いない | 実施済 み | 検討中 | 実施・検 討のどち らもして いない | 実施済 み | 検討中 | 実施・検 討のどち らもして いない |
| 居宅サービス | ①通所介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ②通所リハビリテーション | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ③短期入所生活介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ④短期入所療養介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑤特定施設入居者生活介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| 地域密着型サービス | ①認知症対応型通所介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ②小規模多機能型居宅介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ③地域密着型通所介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ④認知症対応型共同生活介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑤地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | ⑥看護小規模多機能型居宅介護 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |

(12 ページに続く)

問 17 から問 20 は、堺市内で居宅介護支援事業所を運営している法人にお伺いします。

問 17 貴法人から見て、堺市の要介護者（要介護1～5）にとって不足していると感じるサービスは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護
8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護
11. 特定施設入居者生活介護
12. 福祉用具貸与
13. 特定福祉用具販売
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15. 夜間対応型訪問介護
16. 認知症対応型通所介護
17. 小規模多機能型居宅介護
18. 地域密着型通所介護
19. 認知症対応型共同生活介護
20. 地域密着型特定施設入居者生活介護
21. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
22. 看護小規模多機能型居宅介護
23. 介護老人福祉施設
24. 介護老人保健施設
25. 介護医療院
26. 特になし

問 18 サービスを実施するにあたって、他の事業所や機関等との連携はどの程度とれていますか。下記の①～⑧の項目ごとに、あてはまるものを選択してください。（それぞれ〇はひとつ）

| 連携の相手 | 連携の程度 | 連携がとれている 大変うまく 連携がとれている | おおむね 連携はとれている | どちらとも いえない | あまり連携は とれていない | まったく連携が とれていない |
|------------------------------------|-------|-------------------------------|------------------|---------------|------------------|-------------------|
| ①他の居宅介護支援事業者 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②他の居宅サービス提供事業者 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③他の地域密着型サービス提供事業者 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④他の施設サービス提供事業者 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤医療機関 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥介護保険以外のサービス提供機関 (ボランティア・NPO含む) | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦地域包括支援センター | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧行政機関 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 22 施設への入所を決定するにあたり、特に入所判定委員会等で重点をおいていることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 要介護度が4・5の重度で、在宅で待機している
2. 本人または家族(ケアマネなどを含む)と面談した結果、在宅で介護が難しいと判断されている
3. 要介護度が低いが長期間待機している
4. 病院での急性期の治療は終わったが、在宅復帰に不安がある
5. 他の施設などから紹介されている
6. 虐待が疑われるなど緊急性がある
7. その他()

最後に、本市における高齢者の保健福祉サービス、介護保険サービス等について、ご意見等がありましたらお聴かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以上で調査は終了です。
ご協力ありがとうございました。
記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れて、
令和8年2月13日(金)までに
郵便ポストに投函してください。